

1 平成30年度 役員、事務局担当者

(1) 役員

* 県高文連放送専門部 部長 田口 尚弥 (富士河口湖高校校長)

* 県高文連放送専門部 委員長 兼 NHK杯全国高校放送コンテスト
兼 YBS杯県下高校放送コンテスト担当
兼 関東地区高校放送コンクール実行副委員長: 川手 里佳 (富士河口湖)

* 放送専門部 副委員長 兼 NHK杯全国高校放送コンテスト担当:
望月 祐子 (山梨)

* 放送専門部 副委員長 兼 NHK杯全国高校放送コンテスト担当
兼 会計: 小泉 智恵 (塩山)

* 県高文連放送専門部 事務局長
兼 関東地区高校放送コンクール山梨大会実行委員長: 小林 理恵 (韮崎)

* NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会担当: 宮久保 純子 (日川)

* NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会担当: 剣持 芳恵 (笛吹)

* YBS杯県下高校放送コンテスト
兼 記録(放送連盟賞賞状・報告書)担当: 小林 久美子 (巨摩)

* YBS杯県下高校放送コンテスト
兼 記録(放送連盟賞賞状・報告書)担当: 斉藤 とき子 (市川)

* 県高等学校芸術文化祭放送部門担当兼ML・HP管理: 三神 幸子 (甲府工業)

* 県高等学校芸術文化祭放送部門担当
兼 県高文連放送部門 運営委員: 大代 章子 (甲府西)

* 関東地区高校放送コンクール山梨大会実行委員: 長坂 教子 (山梨学院)

* 関東地区高校放送コンクール山梨大会実行委員: 西室 聡子 (甲府商業)

(2) 放送コンテストをお手伝いいただく先生

* データ処理担当: 長谷川 準 (都留興譲館)

(3) 会計監査担当校: 富士河口湖高等学校

(4) 放送コンテスト会場(校)

* NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会: 山梨市民会館

* YBS杯県下高校放送コンテスト: 山梨市民会館

* 県高校芸術文化祭放送部門: 山梨県立図書館

* 放送生徒・顧問研修会: 関東高校放送コンクール実施のため、今年度は実施せず

* 会場校: 甲府南高校

2 平成30年度 事業計画

月	日(曜日)	事業内容	備考(場所など)
4	17(火)	(全体会議)第1回放送専門部大会等運営準備会議	甲府南高校
5	9(水) ・11(金)	県高校総体 開会式・閉会式 司会 *注①	小瀬陸上競技場
6	15(金) 16(土)	★第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 山梨県大会	NHK甲府放送局 山梨市民会館
7	上旬 7(土) ()? 24(火) ~26(木)	アナウンス・朗読の全国大会出場者 練習会 (会議)NHK杯担当者会議 高校野球選手権山梨大会 開会式 司会*注② 全国高校総体夏季大会結団壮行式司会*注③ ★第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会(準々決勝~決勝)(受付23日)	NHK甲府放送局 東京 小瀬球場 東京
8	9(火)~ 10(水)	★第43回全国高等学校総合文化祭「長野大会」 (会議)全国顧問会議(理事会)・関東地区代表者 会議?	岡谷市・カノラホール
9	15(土)	★YBS杯県下高校放送コンテスト 県高校芸術文化祭放送部門 参加申し込み	山梨市民会館 各校
10	未定	(会議)放送専門部事務局会議 (全体会議)芸術祭放送部門コンテスト運営準備会議	未定
11	4(日) 8(木)	第38回山梨県高等学校芸術文化祭 ★放送部門 同 グランドステージ・、記録 *注④	山梨県立図書館 コラニー文化ホール・市内
12	() 26(火) ~27(水)	全国高校総体冬季大会結団壮行式司会 *注⑤ 校内放送指導者講座	未定 東京
1	中頃 27(日)	放送連盟賞の表彰状申請 高文連会誌の原稿作成 ★第16回関東地区高校放送コンクール	各校 山梨
2	()	放送生徒・顧問研修会(実施せず) (会議)放送専門部事務局会議(関東大会会議と共に随時開催)	
3		放送専門部活動状況報告発行	

☆：県内のコンテスト

★：県外のコンテスト

*注 司会生徒等の推薦について

①②③前年度の9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により①は男女各1名、②は女子1名、③は1名(男女問わず)の推薦者を決める。

④ 9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により、グランドステージは男女各1名、また、グランドステージのみ、記録係としてテレビ制作PR部門の上位入賞校1校を推薦。(パレード司会は、運営担当校(山梨学院高校)に一任する。)

⑤ 9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により、司会1名(男女問わず)を推薦。
※その他、外部より依頼があり尚且つ『生徒の為になる』と判断した司会等は、同じく9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により、上位生徒から推薦していく。

3 県内の放送コンテストについて

(1) 放送コンテスト会場校 順番表

甲府市内または近郊で、分担金を払っている学校が、会場校を担当します。

NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会、YBS杯県下高校放送コンテスト、山梨県高等学校芸術文化祭放送部門は基本的に外部の会場で実施し、生徒・顧問研修会を会場校で実施するようにしたいと思います。ただし、会場校の都合等によって、変更になる場合もあります。

甲府南 ー 甲府昭和 ー 山梨英和 ー 甲府西 ー
(平成30) (平成31) (平成32) (平成33)

ー 山梨学院 ー 甲府東 ー 甲府第一
(平成34) (平成35) (平成29)

(2) 放送コンテスト審査員 順番表

1. 本年度も今までと同様に、次のような順序でお願いします。ただし、都合が悪い学校があったり、同じコンテストの審査員に同じ方が何年か続いたり、会場校担当者や事務局担当者とかち合う場合もあるため、この順番は多少前後します。
2. 運営員主任を担当される先生は、その部門の運営委員の先生方への役割分担と、会場全体の運営を行っていただきます。審査用紙・コメント用紙の回収や発表会場のドア開閉などにあたる補助員指導などの係分担割り振り等をご指導ください。
3. 都合が悪い場合には、事前に各コンテスト担当者までご連絡ください。
4. 今年度から新たにコンテストに参加される学校の顧問の先生には、6月のNHK杯山梨県大会で模擬審査をしていただくことができます。

富士北稜 ー ー 笛吹 ー ー 甲府東 ー ー 塩山 ー ー 巨摩 ー ー 白根 ー ー 吉田
ー ー 山梨英和 ー ー (市川) ー ー 日川 ー ー 富士河口湖
ー ー 甲府昭和 ー ー 甲府第一 ー ー 都留 ー ー 北杜 ー ー 甲府南
ー ー 山梨 ー ー 甲府西 ー ー 韮崎 ー ー 山梨学院 ー ー 甲府工
ー ー 甲府商業 ー ー 甲府城西 ー ー 都留興譲館 ー ー 甲陵

注：() は、平成29年度の分担金を払っていただかなかった学校です。

*平成26年度から、全ての顧問の先生方にご協力いただきながら、部門の運営に新たな輪番制を導入しています。

*平成29年度から、より多くの顧問の先生方に各大会の運営に関わっていただけるよう、運営員のシステムを変更します。各大会で、事務局や審査員以外の顧問の先生方に、出場者の集合点呼や計時などのお仕事をお願いしたり、補助員の動員にもご協力いただく形をとらせていただきますので、ご了承ください。

＜平成29年度 放送コンテスト 審査員・運営員 順番表＞

コンテスト名	事務局・係	審査員	運営員	会場
NHK杯 (6月)	日川 笛吹 都留興譲館 (成績処理) * 山梨 * 塩山 * (富士河口湖)	巨摩 市川 甲府西 山梨学院	事務局・係・審査員以外 の全ての学校 ○北杜 富士北稜、甲府東、吉田 ○韮崎 山梨英和、甲府昭和、甲 府第一 ○甲府南 都留、甲府工業、甲府商 業、甲府城西	山梨市民会 館
YBS杯 (9月)	巨摩 市川 富士河口湖 都留興譲館 (成績処理) * 韮崎 * 北杜	富士北稜 笛吹 甲府東 塩山 都留 山梨	事務局・係・審査員以外 の全ての学校 ○甲府第一 吉田、日川、甲府昭和 ○山梨英和 甲府南、甲府西、甲府工 業 ○山梨学院 甲府商業、甲府城西、都 留興譲館	山梨市民会 館
記録 (活動状況)	巨摩 市川			
芸文祭 (11月)	甲府工業 甲府西 都留興譲館 (成績処理) * 甲府第一 * 山梨英和	富士河口湖 韮崎	事務局・係・審査員以外 の全ての学校 ○山梨 富士北稜、笛吹、甲府東、 巨摩、吉田、市川、日川 ○塩山 甲府昭和、都留、北杜、 甲府南、山梨学院、甲府 商業、甲府城西、都留興 譲館	県立図書館
研修会 (2月)	山梨 塩山			甲府第一高 校

＜平成30年度 放送コンテスト 審査員・運営員 順番表＞

コンテスト名	事務局・係	審査員	運営員(主任)	会場
NHK杯 (6月)	日川 笛吹 山梨 富士河口湖 都留興譲館 (成績処理) * 甲府東	北杜 吉田 甲府城西 甲府第一 (番組非公開)	* 甲府工業 * 甲府昭和 * 甲府商業	山梨市民会館
YBS杯 (9月)	巨摩 市川 富士河口湖 都留興譲館 (成績処理) * 韮崎 * 吉田	甲府南 甲府工業 甲府昭和 白根 山梨学院 山梨英和	* 甲府東 * 甲府城西 * 都留	山梨市民会館
記録 (活動状況)	市川 巨摩			
芸文祭 (11月)	甲府西 甲府工業 都留興譲館 (成績処理) * 韮崎 * 甲府南 * 甲府城西 * 富士河口湖	日川 甲府商業	* 笛吹 * 吉田	県立図書館
研修会 (2月)				関東大会のため実施せず

4 県外の放送コンテストについて

(1) NHK杯全国高校放送コンテスト（全国大会）《7月》

出場者	大会参加費	引率顧問の審査員など
本年度の山梨県大会上位入賞者。	大会参加費有り。	審査員・運営係有り。
①アナウンス部門 6名 ②朗読部門 6名 ③ラジオドキュメント部門 4作品 ④テレビドキュメント部門 4作品 ⑤創作ラジオドラマ部門 2作品 ⑥創作テレビドラマ部門 2作品	アナウンス部門・朗読部門は、1名 【5,000円】 番組部門は、1作品 【8,000円】 研究発表部門は、1作品 【4,000円】	引率顧問の中で、準々決勝と準決勝の各部門審査員・運営係を分担して担当する。

(2) 全国高校総合文化祭放送部門 《8月》

出場者	大会参加費	引率顧問の審査員など
前年度の県高校芸術文化祭の上位入賞者。	大会参加費有り。	審査員・運営係無し。
①アナウンス部門 3名 (芸術文化祭賞1名・優秀賞2名) ②朗読部門 3名 (芸術文化祭賞1名・優秀賞2名) ③ビデオメッセージ部門 2作品 (芸術文化祭賞1作品・優秀賞上位1作品*) ④オーディオピクチャー部門 1作品 (芸術文化祭賞1作品)	アナウンス部門・朗読部門は、1名 【1,000円】 番組部門は、1作品 【1,000円】	

*ただし、ビデオメッセージ部門とオーディオピクチャー部門で同一校が芸術文化祭賞を受賞した場合を除き、両部門に同一校を推薦することはできる限り避ける。

(3) 関東地区高校放送コンクール《1月》

出場者	大会参加費	引率顧問の審査員など
本年度の県高校芸術文化祭の上位入賞者。	大会参加費有り。	審査する場合がある。
①アナウンス部門 3名 (奨励賞3名) ②朗読部門 3名 (奨励賞3名) ③ビデオメッセージ部門 1作品 (優秀賞下位1作品) ④オーディオピクチャー部門 1作品 (優秀賞上位1作品)	県としての参加負担金が、1県 【2万円】 均等に参加部門で分担すると、1部門 【2,500円】	引率顧問の中で、各部門の審査員を分担して担当する場合がある。

*ただし、ビデオメッセージ部門とオーディオピクチャー部門の両方に同一校を推薦することはできる限り避ける。

5 分担金について

(1) 分担金の金額

* 1校 6,000円

ただし、特別支援学校については、半額の 3,000円

(2) 分担金の使途

* 分担金は、主に年3回のコンテストの運営費として使われます。

また、卒業時に3年生に贈られる、「山梨県高等学校放送連盟賞」の表彰の費用にもなります。

* 1回でもコンテストに参加される場合は、分担金をお支払いください。

山梨県高等学校芸術文化祭 放送部門にのみ参加される場合でも、同様です。

* 「山梨県高等学校放送連盟賞」の表彰を申請される場合も、分担金をお支払いいただいていることが条件になります。

6 表彰について

山梨県高等学校放送連盟賞の表彰対象生徒：

3年生で放送（視聴覚）部あるいは委員会に所属の生徒 1校から1名